



STOP! 介護崩壊 介護ウェブ2010 推進ニュース

— 介護ウェブの “Big Wave” をおこそう! —

方針「今後の介護ウェブの取り組みについて」を具体化し介護改善要求の声を国会に届けよう!

11月11日「介護の日」 宣伝・署名行動! 5カ所で一斉の取り組み(愛媛)

新居浜協立病院では院長が訴え

協立病院では、8時50分から谷井院長が、いい介護の日にあたっての訴えを行いました。介護保険をめぐる現状と課題を語り、署名への協力を訴えました。中央ロビーには、利用者さんと職員約20名が集まり耳を傾け、署名に応じました。



生協病院では手作りチラシ配布し宣伝署名行動

「いい介護の日」宣伝行動では、9時前から宣伝例を利用したの宣伝を行いました。横断幕は受付上部に掲げ、宣伝後、酒井事務長、渡部事務局次長、組織岸さん、本部の高下さんと共に署名を集めました。30筆集まりました。また、右のようなチラシを作り、コピーして配布しました。

伊予診療所では、高岡師長・石川事務長が署名訴え

伊予診療所では、師長と事務長で待合室で数回に分けて、署名をお願いしました。約30筆ほど集まりました。

虹の家では、高次施設長が利用者さんにお話し

介護制度の問題を、デイに来られた利用者さんにお話しました。「とらや」では、学習会があり、民医連綱領の話と合わせて介護保険の問題が語られました。DVDの中に、無保険の方の話も出てきて深まりました。虹の家では、協立病院と連携して組合員訪問にとりくんでおり、今回の行動ではすでに6名が参加。さらに30日にも行動参加の予定です。介護の署名も合わせて取り組んでいきます。

松山ハロー薬局では、岸薬剤師が待合で訴え

松山ハロー薬局では、待合の壁に横断幕を掲示しました。社保担当でもある岸薬剤師が、利用者みなさんに訴えを行ってくれました。100筆の署名を集約し、本部に届けました。



(愛媛県民医連社保平和委員会ニュース 2010年11月12日、15日 NO.142.143 より)

巣鴨駅前宣伝行動(11月4日) 署名・相談コーナーも盛況(東京)



中央社保協・全労連・「介護をよくする東京の会」の共催で、JR 巣鴨駅前で宣伝行動を行いました。宣伝カーからの訴え、チラシ配布、署名のほかに「介護相談コーナー」を設け、総勢20名が介護改善を訴えました。相談コーナーには、「年金から介護保険料が引かれることは納得がいかない」「後期高齢者医療制度や使いにくい介護保険など老後の暮らしは大変」と、介護にかかわらず老後生活の大変さを訴えるお年寄りが次々と立ち寄って行きました。署名コーナーでは民医連の「介護署名」が多数集まりました。全日本民医連・山田智副会長(立川相互病院副院長)は宣伝カーからの訴えやチラシ配布で大奮闘。「東京はチラシの受け取りがよいなあ」とのこと。約1時間の行動で11月11日、12日に予定している「介護なんでも相談」のチラシ500枚を配布しました。(東京民医連介護ウェブニュースNo. 49 2010年11月10日より)

県連介護職部会発足総会に介護職員48名が参加！ 笑顔と誇りにチョット目頭が潤んだ夢あふれる船出の総会(神奈川)

神奈川県介護職部会発足総会が10月15日(金)夜に介護職員48名が参加して開催されました。総会では介護職員アンケート調査の結果報告があり、介護職以外の職歴をもつ人生経験豊かな30歳代から50歳の職員が約8割。今の仕事を辞めたいと思ったことがある人は約6割いたが、介護職にやりがい・生きがいを感じて働いている人は8割以上も居る事が分かりました。また、仕事との悩みや考えを相談・話せる人がいると答えた人は86%おり働き続ける支えとなっている。しかし、処遇改善では賃金、休暇、地位向上、など介護保険制度に問題が沢山あることも分かった。準備委員会ではこれらのアンケート調査をもとにした「私たちが考える介護職部会方針はこれだ!!」を提案し全員一致で可決されました。また、音楽療法士による記念講演では自分の親を看取った経験を交えながらのお話と実際に楽器を使って体を動かす体験から音楽療法の素晴らしさを実感することができました。最後に役員紹介と決意表明があり笑顔と誇りにチョット目頭が潤んだ夢あふれる船出の総会となりました。

(2010年11月12日 神奈川県民医連 揚妻幸男さんより)



お問い合わせは、「介護ウェブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp